

ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 218



* 利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

Q : 箱根駅伝に関する資料はありますか。

A : [全資料検索] ⇒ 「箱根駅伝」で検索すると 48件 ヒットします。

 book ... 図書

『最後の箱根駅伝』 782/H47 開架書棚
『昭和十八年幻の箱根駅伝』 782/Sa95 開架書棚
『箱根駅伝 70 年史』 782/Ka59 開架大型

 magazine ... 雑誌

『アサヒ・スポーツ 第15巻第4号 = 第379号(昭和12年2月)』
780/A82/15-4 閉架書庫
『朝日クロニクル週刊 20世紀 日本人の100年 58号(2000年3月)』
210.6/A82/58 閉架書庫

大正9年(1920)に第1回目が開催されてから、毎年おこなわれていた箱根駅伝ですが、戦況の悪化にともない、昭和15年以降は中止されます。

しかし、学徒出陣をひかえた学生たちは箱根を走りたいと熱望します。軍部との粘り強い交渉のすえ、昭和18年の箱根駅伝は「戦勝祈願」という名目で実現されました。名称は「二千六百三年靖国神社箱根神社間往復関東学徒鍛錬継走大会」とされ、スタート・ゴール地点を靖国神社、折り返し地点を箱根神社とするコースに変更されました。

昭和19年以降は再び中止されましたが、終戦から2年後の22年に復活し、それ以後は毎年おこなわれるようになりました。

* 参考 *

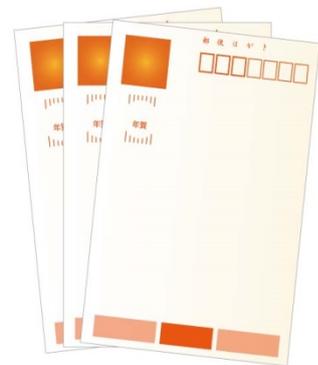
[全資料検索]では4階 図書室の資料だけでなく、5階 映像・音響室で閲覧できる資料も検索できます。

 image は写真、 picture は映像、 record は音源です。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



年賀状のはなし



今年も早いもので、もう12月。12月になって忘れてならないのは年賀状。
みなさんはもう準備しましたか？

新年に賀詞（お祝いの言葉）を交換する風習は、奈良時代から行われていた
ようですが、明治4年（1871）3月1日に西洋諸国に倣った近代郵便制度が発足すると、賀詞を
郵便で送ることが自然発生的に行われるようになりました。

同39年（1906）の年末年始に取り扱われた年賀状の数は全国でおよそ4億通。その後、取扱
数は年々増加し、昭和11（1936）年にはおよそ8億5千万通に達したと言われています。次の
年に日中戦争が始まると、年賀状を自粛すべきとの空気が急速に広まり、翌13年の年賀状の
取扱いは3億2千5百万通まで激減したそうです。14年にはさらに減少して1億5千万通まで
落ち込みます。15年には、戦時下の「虚礼廃止（形だけで心のこもっていない、意味のない
儀礼はやめる）」となり、年賀状の特別取扱は事実上廃止されました。

しかし空襲が激しくなり、疎開によって転居を余儀なくされる人が多くなると、年賀状は
安否確認の手段として重要な意味を持つようになりました。日本中の大都市が焼け野原になった
20年の正月も、終戦後の21年も、相当数の人々が安否確認のために年賀状のやり取りをして
いました。

昭和23年（1948）末、戦後復興に伴う経済状況の好転にともない、12月25日から年賀状
の特別取扱が復活、戦後初の年賀切手が発行されました（戦前の年賀切手は昭和11年の正月用
から13年用まで3回発行されています）。翌24年12月1日には、世界初の「お年玉くじ付き
年賀葉書」が発売され、額面2円に1円の寄付金を付けた3円の葉書が1億5千万枚発行され
ました。今では当たり前となっている「お年玉くじ付き年賀葉書」を発案したのは、大阪で洋品
雑貨店を営んでいた林^{まさじ}正治さんです。林さんはお互いの無事を確かめ、励ましあう事ができた
らと考え、時の郵政大臣に掛け合い実現させたのです。くじの景品は特等がミシン、1等が純毛
洋服地、2等が学童用グローブと続き、末等の6等は記念切手でした。

平成15年（2003）に発行数が44億6千万枚となり、ピークを迎えました。その後、インタ
ーネットやスマートフォンなどの普及から減り続け、今年（平成30年）は24億枚の発行に
とどまるそうです。今回の景品には「東京2020オリンピック」の招待券もあるとのこと。

参考文献：

『年賀状の戦後史』（閉架 693/N29）

『辞書びきえほん もののはじまり』（閉架 031/Ka18）

ぶらりらいぶらりい～図書室にはこんな本があります～ NO. 218

2018年12月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1